



大志望峰

大成功の炎翼祭！

夏休みが終わり、まだまだ学校モードに切り替わっていない8月29日から、学園祭特別時間割が実施され、本格的に炎翼祭の取り組みがスタートしました。その日から約2週間、厳しい取り組みを通して、とてもいい勉強になったのではないのでしょうか。そして、文化の部、体育の部ともに、思い出に残る最高の2日間を送ることができました。特に、文化の部では日頃から一生懸命に取り組んでいる文化部、3年ぶりの合唱コンクールと塩山中の文化の質の高さを見せてくれました。美術部の似顔絵、科学技術部の化学実験、家庭科部の地域レポート、吹奏楽部のコンクール曲披露や楽しいポップスの世界まで、どの部も真面目に地道に一生懸命に活動している様子がわかりました。学年・クラス合唱については、本当に短い取り組みの中でよく頑張って自分たちの曲を作り上げた后感心しました。マスクを着用しながらも必死で頑張っている姿、みんなと同じ目標に向かって努力している姿は美しいし、かっこいいと改めてみなさんから教えてもらいました。今年、審査員で来ていただいた塩山南小の竹川美和先生からお褒めの言葉と大切なアドバイスをいただきました。これからの合唱活動等に生かしていただきたいと思います。2日目の体育の部では、本気で全力で、そしてベストを尽くして頑張った塩中生の姿がありました。取り組みが始まってからもなかなかエンジンがかからず、グラウンドには先生方の熱いアドバイスの声が響き渡り、クラス、学年種目から伝統の創作応援と本当に取り組みは厳しい状況でしたが、何とか本番を迎えることができました。当日はどのクラスも、最後まであきらめず、熱い声援を送り、一生懸命頑張っていました。種目の中には、苦手な競技もあり、不安に感じていた生徒もいたと思いますが、仲間の支えや励ましでみんながチャレンジする気持ちで取り組めたこと、そのことが自分自身とクラス、学年、全校を一步前に進められたのだと思います。2日間の炎翼祭、そして今まで頑張って取り組んできた日々を通して、生徒たちは、改めて自分のクラスが一番、学年が一番、塩中が一番という気持ちをさらに強くしたと思います。苦しいことも悩んだことも、喜びもみんな自分の力になります。そしてその力が、これから経験する教達検であったり、新人大会、強歩大会などいろんな行事で自分を支える力となって発揮されるでしょう。

～保護者の皆様へ～ 今年の炎翼祭は、コロナ禍で様々な制限をさせていただきましたが、できるだけ例年通りの形に戻して行いました。何よりも生徒会本部や3年生を始め全校の生徒が、創作応援を行いたい、合唱を歌いたいという思いもあり、今回の内容という結論に達しました。私たち教職員も悩み、何度も検討しましたが、やはり生徒たちの思いを優先して考えようということで決定しました。参観の制限もさせていただき、ご迷惑をおかけしましたが、生徒たちのために温かく見守っていただき感謝いたします。ご協力とご支援をいただき本当にありがとうございました。



新人戦に向かってがんばろう！

いよいよ10月5日、8日に東山梨新人体育大会が開催されます。どの部も先輩からバトンタッチされ、2年生を中心にこれまで精一杯頑張ってきたと思います。3年生がいないので人数も少なくなりましたが、張り切って前向きに取り組んでいる姿がありました（野球部は塩山北中、松里中と、サッカー部は笛川中と合同チーム）。あいさつや返事も新チームになって先輩たちを超えようと頑張っている部もあります。やはり、さわやかなあいさつをしてくれると、とてもすがすがしい気持ちになります。新人大会は、最初の公式大会なので不安でうまくいかないことが多く、心も負けてしまいそうになりますが、チームの仲間とともに全力で思い切りチャレンジしてください。目標に向かって、自分たちの力が少しでも出し切れるように頑張りましょう。